

多和田葉子さん講演会のご案内

演題：人間やめたい文学

太宰治の小説に「人間失格」があるが、人間が人間であることに失格することとは果たして可能なのだろうか。近代に入って日本は、消化しにくい「人間」の概念と文学や映画の中で格闘してきた。「蟹工船」から「いのちの初夜」まで、さまざまな作品を取り扱いながら、ヨーロッパ、特にドイツとの比較の中で人間について考えてみる。

開催日時：2016年11月10日（木）11時00分～12時30分

会場：3352 教室（文学部3号館低層棟3F）

主催：中央大学文学部ドイツ語文学文化専攻

問い合わせ先：文学部ドイツ語文学文化専攻共同研究室（3号館5F、Tel: 042-674-3739）

*事前の申し込みは不要ですが、会場の収容人数に限りがありますので、お早めにお越しください。

*中大生協にて、多和田葉子さんのブックフェアを開催いたします。当日は公演会場でサイン会も行われます。



多和田葉子さんプロフィール

東京生まれ、国立市育ちの「多摩っ子」。都立立川高校を経て、早稲田大学ロシア文学科卒業。「犬婿入り」で芥川賞（1993）、『容疑者の夜行列車』で谷崎潤一郎賞（2003）、『尼僧とキューピッドの弓』で紫式部文学賞（2011）、『雪の練習生』で野間文芸賞（2011）を受賞するなど、受賞多数。ドイツでは1987年に詩集でデビュー。ドイツ語の作品群に対し、シャミッソー賞（1996）、ゲーテ・メダル（2005）を受賞。2016年のクライスト賞受賞者に決定。